

実践・リスクマネジメント

—第一線で活躍する専門家がリスクマネジメント手法を解説！—

11月18日(土) 13:00 (受付12:30~)

基 調 講 演

新・会社法による内部統制の要求



土橋 正

講 師

足立 桂輔

青山学院大学法学部長・大学院法学研究科長、KPMGビジネスアシュアランス株式会社
同教授、弁護士 マネージャー



モデレータ： 藤川 久昭 青山学院大学法学部 助教授、リスクマネジメント協会 評議員

分 科 会

Room A

14:30-15:30

オペレーショナル
リスクの管理手法

講師：

KPMGビジネスアシュアランス
シニアマネージャー
デイヴィソン 貴子

Room B

14:30-15:30

中小企業のリスク
マネジメント

講師：

オフィス アサノ 代表
リスクマネジメント協会理事
浅野 睦

Room C

14:30-15:30

海外進出企業の
危機管理態勢構築

講師：

安全サポート協会 理事長
リスクマネジメント協会特別顧問
三島 健二郎

15:45-16:45

コンプライアンス
態勢構築のHOW

講師：

森原憲司法律事務所
弁護士
森原 憲司

15:45-16:45

中小企業が注意すべき
リスクマネジメント

講師：

㈱九財コンサルティング
代表取締役 税理士
井村 幸男

15:45-16:45

海外進出企業の
法的トラブル事例

講師：

JONES DAY 法律事務所
弁護士
渡辺 新矢

交 流 会



時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2006年5月新・会社法が施行され、来年度の日本版SOX法施行を前に、企業はいよいよ自社責任による管理態勢の構築を迫られる時代となりました。

協会会員の多くの方からも、「内部統制とは何から始めればよいのか?」、「どれくらいのお金をかけて、どの程度までやればよいのか?」という質問が寄せられています。しかし、会社法で示す内部統制システムの構築とは、各企業が自己責任において統制を取るという姿勢及びプロセスを要求しているものです。そのガイドラインとして業務内容が法令や規制に違反していないかを確認するコンプライアンス体

制や将来の損失や危機に対し準備ができていくというリスクマネジメント体制などがあり、それを社会的責任において報告するということです。

これまでのリスクマネジメント協会秋季大会では、米国で活躍するリスクマネジャーを招聘し、講演会を開催してまいりましたが、協会会員のみなさまのご要望に応え、今年度より日本社会におけるより実践的なリスクマネジメント手法を紹介するべく、日本で活躍されている第一線の専門家の方々にご登壇をお願いいたしました。お誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。

リスクマネジメント協会
理事長 前川 寛

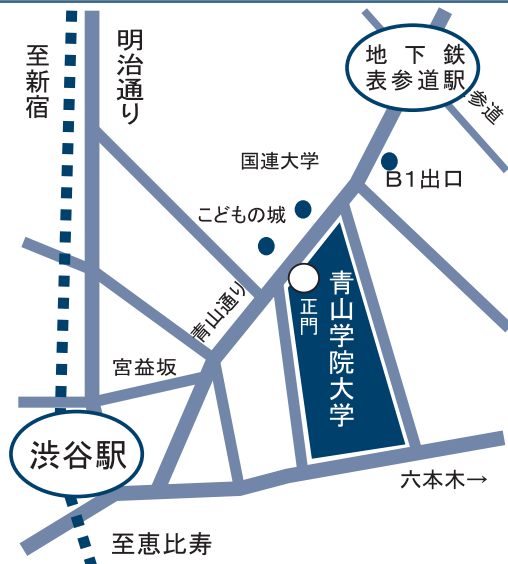
2006年 リスクマネジメント協会 秋季大会

会場のご案内

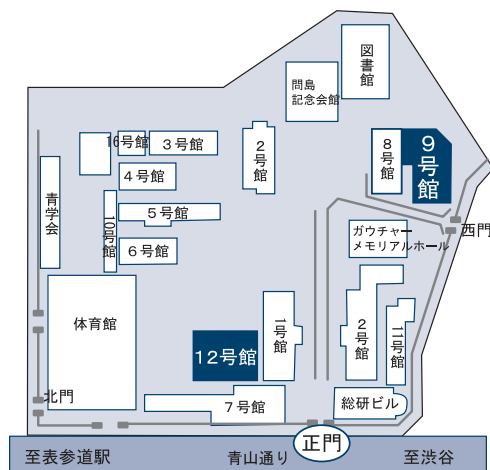
11月18日(土)

会場:
青山学院大学
9号館、12号館
東京都渋谷区渋谷4-4-25

JR山手線、東急線、京王井の頭線『渋谷』下車
徒歩10分
地下鉄『表参道』下車
B1出口徒歩5分



青山学院大学 青山キャンパス



参加申込書

- * お申込はFAXまたは郵送でお願いいたします。
それ以外でのお申込は、受け付けておりません。
- * 定員となり次第、締切とさせていただきます。
- * 大学関係者の方は、大学との関係(学生、院生、卒業生、教職員等)をお書きください。

FAX送付先 **03-3358-9470**

参加費

青山学院大学、
学生および関係者

無 料

学生・関係者に○を付け必要事項、
大学との関係を記入しお申込みください

ふりがな お名前				大学との関係	
連絡先 住 所	〒 -				
連絡先 電話番号	()		連絡先 メール アドレス		